

第 164 回医療ビジネス研究会のご案内

社会の成熟化に伴い世の中の社会貢献活動も幅広く活性化しているようです。社会貢献の活動主体は個人が行うものから、NGO や NPO などの非営利団体はもとより、企業(営利組織)が行うものまで様々です。また、支援対象も災害、子供、高齢者、ホームレス、自然(環境)、動物、教育(啓発)等、多岐に渡りますが、近年は国連でも持続可能な開発目標 (SDGs) が採択(2015年)され、17の国際目標の下に169の達成基準と232の指標が設定されたことから、国境を越えた社会貢献活動も活発化しています。

貢献の仕方(方法)もヒト(役務、情報、技術、ノウハウ等)、モノ(食品、薬品、用品、機材、不動産等)、カネ(寄付、売上等)が考えられますが、何れのケースも身近でアクセスし易い事から関わるのが基本のようです。弊社におきましても障がい者就労支援委員会を設置(2018年)し、微力ではありますが障がい者の就労支援や生活支援団体の支援を行っています。

今回は国際的社会貢献活動に奔走される「A-GOAL」代表の岸氏よりお話を伺います。同氏は青年海外協力隊員としてケニア共和国で活動し、児童鑑別所の職員として様々な境遇の子どもたちのサポートをされました。その間、地域住民とともにサッカークラブを立上げ、サッカーを通じた地域の課題解決に従事、その後 A-GOAL (Africa - Global Assist with Local Sport Clubs) を立ち上げ、アフリカ各地のサッカークラブを拠点に、コロナ禍で急増した失業者に食料支援をしてきました。

現在はケニアにあるアフリカ最大のスラム「キベラスラム」にて、71チームが参加するサッカーリーグの運営を通して、約 900 人の子どもたちに食事や教育の機会を提供しています。同時にマラウイ共和国でも地元サッカークラブを通じ農業支援やローカル食堂の運営を行なっています。

講義は開発途上国支援、青少年の健全育成などの話しが中心となりますが、医療、介護、障がい者、健康分野等におきましても示唆に富んだ内容です。1人でも多くの方が社会貢献活動に参加することが社会的課題のひとつですが、活動の基本は個人も組織も仕事(本業)をしながら、得意な事、興味のある分野にアクセスすることにあるようです。福祉分野で活動される方はもとより、社会貢献事業に興味を持たれる、企業や個人の方には是非ともお聞きいただきたくご案内申し上げます。

2023年3月

特定非営利活動法人 医療事業再生機構

記

- テーマ:「社会貢献活動へのプロローグ」 =スポーツを媒介とした開発途上国支援事業を中心として=
- 講師:岸 卓巨(タクミ)氏 一般社団法人 A-GOAL 代表、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構職員、一般社団法人アフリカクエスト理事、中央大学客員研究員
- 開催日時:2023年3月30日(木曜日)15:00~17:00

以上

※ 医療ビジネス研究会に参加される方は受講票が必要です。